



Q

(藤本議員)

開かれた熊野町ホームページの運用を。

A

誰もが便利で使いやすく、分かりやすいホームページを目指して運営していく (前土井総務部長)

A 2

今回の広告の募集は、財源の確保、職員のコスト意識の向上、地元商工業者の育成・振興等を目的にホームページだけでなく広報紙においても実施している。募集の方法については、広告代理店に委託する方法も検討したが、業者への委託料の支払いにより収入が減少することなどが考えられるため、当面は町独自で募集事務を行っていききたい。

Q 2

現在、町では財源確保のためにホームページへの広告掲載について公募を行っているが、広告募集を町独自の申し込み先だけでなく、他の市町村のように民間広告会社へ委託し、広く広告の公募を行うてはどうか。

A 1

町のホームページは、平成12年6月に設置し、現在まで31万件あまりのアクセスを頂いている。これの作成については、分かりやすい構成、文字の大きさ、色使いなどに注意し、音声読み上げソフトについても対応させて、誰もが分かりやすいホームページ作りを心がけている。

Q 1

ホームページを利用する人はどんな人がいて、どのような環境で利用しているか考えてみる必要がある。小さな子供から障害のある方にも配慮したユニバーサルデザイン化を取り入れてみてはどうか。

Q

(藤本議員)

個人情報保護法に準じた徹底した情報の管理を求む。

A

適切な情報管理を徹底しているが、不適切な点については早急に対処していく。(前土井総務部長・加藤学校教育課長)



A

町では平成13年に「熊野町個人情報保護条例」を制定し、町民の個人情報の保護について適切な処理を行ってきた。具体的な取り組みとしては、

- ① 町有の情報に対する各種セキュリティ規定、セキュリティポリシーの策定
- ② 職員研修会の実施やハンドブックの作成
- ③ 文書の保存・廃棄といったライフサイクルの確立と溶解処理など確実な文書廃棄等、

今後とも法律に沿って徹底した運用を行っていく。(前土井総務部長)

A

町内の学校での実施状況については、把握が不十分な点もあるので早急に調査し、不適切な部分については周知徹底を図る。(加藤学校教育課長)

Q

2005年4月より全面施行されたが、町が扱う個人情報について常に個人情報保護法を意識して取扱っているか。

また、庁舎内に限らず、制度施行後の学校等の行事に関連した、個人情報の取り扱いが適正に行われているのか。

さらには、セキュリティ対策における「計画」「実施」「監査」「改善」のプロセスを継続的に実施しているか。